

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## セイノーホールディングス株式会社（証券コード:9076）

### 【据置】

長期発行体格付                      A +  
格付の見通し                        安定的

### ■格付事由

- (1) 特積み大手である西濃運輸を中核子会社とする純粋持株会社。経営・資本・資金などの諸側面から当社とグループ会社の一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。全国規模の物流ネットワークを背景に強固な事業基盤を構築しており、幅広い荷主と安定した取引関係を維持している。輸送事業が収益の柱であり、売上の約70%を占める。
- (2) 適正運賃収受や新規荷主の獲得などが奏功し、増益基調を維持している。人件費や備車費の増加傾向が続く見込みだが、当面は運賃是正により吸収可能と見ている。強固な事業基盤に加えて、国内の良好な景気を背景に取扱貨物量も安定的に推移すると見られ、今後も収益は堅調に推移すると考える。財務構成は良好である。引き続き物流センターの新設や整備を中心とした高水準の設備投資が見込まれるが、現状程度の財務構成は当面維持可能と考えている。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 18/3期営業利益は280億円（前期比3.3%増）の見通し。人件費や備車費の増加を運賃是正により吸収し、9期連続増益が見込まれる。19/3期もコスト増加が想定されるが、取扱貨物量の堅調な推移および18/3期に実施した運賃是正の効果が通年寄与すると見られ、収益は堅調に推移すると考える。中期経営計画（18/3期～20/3期）では売上高6,090億円、営業利益300億円の定量目標が掲げられているが、その達成確度は高いと考えられる。定量目標の達成に向けてBtoB物流の一層の効率化や3温度帯物流の確立、グローバル3PLの拡大などに取り組む方針であり、進捗状況と成果を注視していく。
- (4) 18/3期第2四半期末自己資本比率は63.2%など、財務諸比率は良好な水準にある。また手元流動性は有利子負債残高を恒常的に上回っており、資金的余裕度も高い。今後は設備投資の増加やM&Aに伴い有利子負債が増加する局面も想定される。しかし利益蓄積に伴う資本の拡充が進むことで、良好な財務構成は当面維持される見込みである。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

### ■格付対象

発行体：セイノーホールディングス株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年1月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「陸運」(2011年12月7日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) セイノーホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であってもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル